

## 第5学年 総合的な学習の時間

1、 単元名	My 米プロジェクト		
2、 単元の目標	米について調べたり、米作りの体験を協働して取り組んだりする活動を通して、米を生産する人々の苦労や願いを理解し、自分たちにできることについて考える。また、日本の食文化を支える一員として行動したり生活したりできるようにする。		
3、 単元の評価 基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米に関わる生産者、消費者、環境等のつながりを理解している。</li> <li>・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識や目的意識をもって話し合っている。</li> <li>・自分の考えの理由や根拠を明確にしながら他者と交流し、課題を追求している。</li> <li>・自分の考えを表現方法の特徴や表現の目的に合わせてわかりやすくまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、意欲的に取り組んだり他者と協力したりして活動している。</li> <li>・自分事として、自分たちができることを考えたり発信したりしている。</li> </ul>

### 4、指導計画（全 時間）

過程	時間	学習活動
一次	2	<b>米作りについて調べよう</b> ○お米について知っていることを整理分析し、お米について調べる。 ○「米作り」について調べる。 ・インターネットや本を活用し、育て方まとめを発表する。
二次	35	<b>米作りを体験しよう</b> ○苗づくり、田植えを行う ・教育振興会の方に田植えの仕方を教えてもらい、田植えをする。 ○水の管理、鳥対策、害虫対策、生育調査、稲刈りの仕方について調べ、自分たちができることをする。 ・鳥対策として、ネットをかける、かかしを作る、スプレーを作る。 ・水抜きを時期を講師の方に教えてもらう。 ○稲刈りをする。 ○脱穀、粳摺りをする。
三次	15	<b>収穫したお米を食べよう！</b> ○収穫したお米をどうするか考える。 ・どのように食べるのか話し合う。 ○藁の使い道について考える。 ・お正月飾りなど、使い道について調べまとめ、自分の作りたいものを作る。

## 5、展開例

### (1) ねらい

・たくさんのお米を収穫するために必要なことを調べ、自分たちができることを整理し表現することができる。

### (2) 展開

時間	児童の活動	○支援 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>田植え後の稲の世話について考える。</li> </ul> <p>○たくさん収穫するために、水の管理をしっかりしたほうがいい。</p> <p>○去年の5年生が鳥に食べられたから食べられないように対策をしたい。</p>	<p>○たくさんのお米を収穫するために必要なことを考えられるよう助言する。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>たくさんのお米を収穫するためにできることを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれそれぞれ調べる。</li> </ul> <p>○水の管理</p> <p>○生育調査</p> <p>○鳥対策</p> <p>○稲刈りの仕方</p>	<p>○社会科「米作りのさかんな地域」で学習したことと関連付けて考えられるよう指導する。</p> <p>○各グループに分かれて調べるときに、自分たちが実行可能なものについて調べるよう助言する。</p> <p>☆米をたくさん収穫するために実現可能な対策について調べ、友達と進んで話し合っている。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを共有する。</li> </ul> <p>○水の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み中の水の管理についてだれがするのか課題</li> </ul> <p>○生育調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲の高さだけでなく、葉の色を気を付けてみなければいけないことが分かった。</li> </ul> <p>○鳥対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かかしや光るものを作りたい。</li> </ul> <p>○稲刈りの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械を使った稲刈りの仕方を調べたが、それではできないことが分かった。</li> </ul>	<p>○これから取り組むことを共有するだけでなく、新たな課題についても共有できるよう助言する。</p>

## 6、学習材設定上の留意点（地域、ボランティアコーディネータとの連携等）

- ・教育振興会の方(2名)に稲の苗をいただいた。田植えの時に児童に直接指導をしていただいた。稲刈りの時にもご指導していただいた。